

2015年6月30日 第75号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

全商連 全国一斉宣伝週間呼びかけ

渋谷民商、吹田民商が宣伝行動



「平和でなければ商売はできません。なんとしても安全法制を押し止めましょう」（国分稔会長）。全商連は6月29日から7月5日までの全国一斉宣伝週間として全国の組織に呼びかけています。

東京・代々木駅前での渋谷民商の宣伝行動には20人が参加。国分稔全商連会長や田中正敏渋谷民商会長、武藤幸子東商連副会長などが交代でマイクを握り、戦争立法反対の請願署名への協力を訴えました。「沖縄を見ても政府のやり方は常軌を逸している」と不安な表情で話す女性など、次々に足をとめ、50人が署名しました。

全国で宣伝や、商店会・同業組合への申し入れなど、創意工夫あふれる取り組みが始まっています。大阪・

吹田民商では、6月20日の朝9時から2時間、工藤会長を先頭に総勢10人で宣伝行動を行い、署名82人分を集め、商工新聞号外400部を配布しました。「自衛隊員の命も大切。戦争に行かせたくない」（元自衛隊員の妻）、「疎開でつらい思いをした。戦争はいやです」（年配の女性）など、それぞれの思いを込めながら署名してくれました。

もう黙ってはいられない！

宗教者の戦争法案に反対する

国会包囲行動に

法衣姿でのご参加をよびかけます

安倍自公政権は、憲法に違反する集団的自衛権の行使容認を具体化する「戦争法案」を国会に提出、今国会会期中になにがなんでも成立させようと、歴史上かつてなかった95日という会期を延長してまで、その成立に執念を燃やしています。

戦争法案は日本と、アメリカの起こす戦争にいつでも、どこでも参加できるようにするためのものです。

宗教者は自衛隊を戦場に派兵することを許すことはできません。私たちは、先の大戦における戦争協力を懺悔した立場から、過ちを繰り返さない決意です。

宗教宗派を超えて、法衣で国会を包囲し、圧倒的国民と力を合わせ、自公政権を追い詰め、なんとしても戦争法案を廃案にしましょう。

その行動に今すぐ、立ち上がりましょう。

2015年6月28日

「もう黙ってはいられない」

戦争法案に反対する宗教者の会

よびかけ人

山崎 龍明	浄土真宗本願寺派法善寺前住職
宮城 泰年	本山修験宗管長 聖護院門跡
奥田 靖二	浅川金刀比羅神社宮司
坂田 良仁	浄土宗十方寺住職
星田 智悦	日本同盟キリスト教団横浜上野町教会牧師
柴出 卓也	日本長老教会西武柳沢キリスト教会牧師
丸山 祐一郎	天理教理實分教会前会長

電子メールやファクシミリなどで案内が届きましたら、ツイッターやフェイスブックなどのほか、可能な限りの手段で拡散をお願いいたします。

法衣で国会を包囲しよう！

「宗教者の会」がよびかけ

「もう黙ってはいられない！戦争法案に反対する宗教者の会」が「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の主催する国会行動に法衣姿で参加しようとしてよびかけています。

「(略)宗教者は自衛隊を戦場に派兵することを許すことはできません。私たちは、先の大戦における戦争協力を懺悔した立場から、過ちを繰り返さない決意です。宗教宗派を超えて、法衣で国会を包囲し、圧倒的国民と力を合わせ、自公政権を追い詰め、なんとしても戦争法案を廃案にしましょう。その行動に今すぐ、立ち上がりましょう」（6月28日）

「宗教者の会」は、山崎龍明さん（浄土真宗本願寺派法善寺前住職）、宮城泰年さん（本山修験宗管長聖護院門跡）、奥田靖二さん（浅川金刀比羅神社宮司）、坂田良仁さん（浄土宗十方寺住職）、柴田智悦さん（日本同盟キリスト教団横浜上野町教会牧師）、星出卓也さん（日本長老教会西武柳沢キリスト教会牧師）丸山祐一郎さん（天理教理實分教会前会長）がよびかけ人となっています。

総がかり行動実行委員会が記者会見

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の3団体の代表は26日、衆院議員会館内で記者会見を行い7月段階のとりくみについて報告しました。憲法共同センター代表の全労連・小田川義和議長は、行動参加者には日本を二度と戦争させる国にしない、という思いと同時に、「安倍やめろ」のコールに象徴される「傲慢で独裁的な安倍首相の政治姿勢にも批判が高まっている」と指摘。「廃案を求める行動を一回り、二回り広げたい」と述べました。

7月の具体的なとりくみとして、毎週木曜日夕方の国会行動を続けます。著名人の参加も要請します。

大規模集会として、14日（日比谷野外音楽堂で18時半集会、国会請願デモ）、26日（国会包囲行動、14時から15時半まで）を予定します。

安倍内閣・与党の衆院強行採決の動きに対しては、国会総結集や座り込み集会などを臨機応変にぶつけていきたいとしました。

全国的には、毎週火曜日に各県10カ所以上のいっせい街頭宣伝をとりくむよう要請したいとしました。

作成した「戦争法案を成立させないでください」の要請書をもとに地元国会議員事務所や地方自治体に要請する方針も決め、全国によびかけています

当面の総がかり行動実行委員会主催の憲法闘争日程

1. 国会前木曜連続行動

- ・6月25日（木）～毎週木曜日 18:30～19:30
- ・衆院第2議員会館前～全労連など憲法共同センターは、参院議員会館寄りに集合

2. 日比谷野音集会

- ①7月14日（火） 集会 18:30～19:30 デモ 19:30（予定）～
- ②7月28日（火） 集会 18:30～19:30 デモ 19:30（予定）～

3. 国会大包围

- ・7月26日（日） 14:00～15:30 国会周辺

4. 毎週火曜日の全国いっせい街頭宣伝行動（主催・総がかり行動実委）

総がかり行動実行委員会は、毎週火曜日に全国的に街頭宣伝を実施する方針を提起しています。

◆上記に加え、憲法共同センターは7月「9の日大行動」、7.14止めよう戦争法案！署名提出決起集会（添付チラシ参照）にとりくみます。

平和安全法制（戦争法制）特別委員会の日程

6月26日の理事懇で当面の特別委員会の日程が決まりました。傍聴を強め、世論を委員会室に持ち込み、監視しましょう。

7月1日（水）9時～12時 参考人一般質疑

3日（金）9時～17時 集中質疑

6日（月）地方参考人会（2カ所 沖縄、もう一カ箇所検討中）

傍聴ご希望の方は、憲法会議（03-3261-9007）までご連絡をお願いいたします。

傍聴行動を強めましょう！